

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4年 2月 28日

事業所名 こども支援センターえがお

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	5		<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準としてのスペースは確保しています。 ・人数やこどもの特性に合わせパーテーションで仕切る等の工夫を行っています。 ・人数だけで見れば部屋は足りているのですが、周囲の音が聞こえ、子どもの集中力が途切れる時もあるため、様子を見ながら他の部屋を用いる等の対応をしています。
	2	職員の配置数は適切である	2	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者、保育士、言語聴覚士、児童指導員の配置は基準を上回る配置となっています。 ・配置基準は満たしているのですが、今年度は未満児の利用が多く、安全面に配慮する場面が多くなったため、細心の注意をはらう等の対応をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	3		<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト等の視覚支援を実施し、利用児が分かりやすい工夫をしています。 ・パーテーションを活用し、1対1の空間を作る等、集中できる環境を整えています。 ・利用児が理解しやすいよう、各部屋に絵カード等の視覚支援を実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・掃除、消毒、換気、気温の管理を毎日行い、安心して過ごしやすい環境を保てるようにしています。 ・活動に合わせ、部屋の設定、部屋分けを行い過ごしやすい空間作りができるようにしています。 ・玩具を口に入れる利用児が多いため、すぐに消毒できるよう、遊戯室に玩具用の消毒用具を設置しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、管理者、児童発達支援と放課後等デイサービスの児童発達支援管理責任者、チーフ・サブチーフで話し合う機会を設け、その都度 業務改善の話を行い、改善しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	3		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、事業所評価を実施し、課題等については改善案を検討し、出来る範囲で改善できるように努めています。 ・保護者の方から意見があった時にはすぐに会議の場をもち、改善できるように努めています。 ・保護者面談や個別支援会議等で保護者等の意向を伺い、できるだけご意向に添えるように対応しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受けていませんが、関係機関等の助言をもらい、環境や業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々話し合いを行い、改善案や課題を話し合っています。 ・定期的に内部研修・外部研修を実施しています(感染症、救急対応時等)

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のやり取りの中や、保護者面談、個別支援会議、サービス担当者会議等でアセスメントを実施し、児童発達支援計画を作成しています。 ・アセスメントに課題があるため、今後研修等でスキルアップに努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てファイルふくいっ子」を使用し、医療機関や保育所等と連携しています。
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	2	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15		<ul style="list-style-type: none"> ・利用時は毎日、児童発達支援計画の目標に沿った記録を実施し、月評価も実施しています。また、計画を作成し直す際には保護者、保育所等、相談支援専門員等も呼び、一緒に計画を作成しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが中心となり、年度初めに活動プログラムを作成する分担表を作成し、それぞれが活動プログラムを作成しています。その際、お互いに相談し合ったり、振り返り等で話し合いを行い、活動の立案を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容が固定化しないように話し合い、新しい活動が考えられるように会議を設けています。また、月の活動プログラム(活動予定表)を早めに作成し、スタッフが活動を考えられるようにしています。 ・同じ活動プログラムでも、固定化したプログラムとして考えるのではなく、どのようにしたらできるようになるか、以前できなかった事が経験や時間を経てできるようになったのか等の視点で行っています。 ・未就学児の増加に伴い、プログラムの見直しの課題があります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	15		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの発達の状況に応じて、個別課題を設定し、毎回、個別療育を実施しています。また、STリハ、PTリハが必要な利用児は並行して実施し、集団活動を組み合わせる計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の連絡会前に個別療育の引継ぎを行い、朝礼時には全体の動きや利用児等の情報交換、打ち合わせを実施しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後には可能な人数を日課で配置し、必ず職員間で振り返りを実施しています。全員で振り返りができない時は、リーダーが中心となって改善案や日課で取り入れて欲しい事等の情報交換を行い、改善に繋げています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に沿った日々の記録を行っています。月評価も実施し支援につなげています。 ・記録は常に取っており、課題を踏まえ改善に迅速に対応できるようにしています。 ・記録の取り方については課題も見られるので、ガイドラインに沿った記録の取り方を研修していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15		<ul style="list-style-type: none"> ・3カ月毎の保護者面談や児童発達支援計画を見直す個別支援会議に支援内容や評価等を動画を交えながら伝え、保護者や保育所等、相談支援専門員にも意向を聞きながら児童発達支援計画を作成しています。その際、家での困り感等も視野に入れた計画作りを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	2		・児童発達支援管理責任者と担当職員が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	4		・利用児の育ちを多方面から支援できるよう、関係機関(保健師、児童相談員、子育て支援センター等)との連携を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	6	2	・医療的ケア児を受け入れる準備をしています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	6	1	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	1		・今年度は保育所等への移行支援児はいなかったため、実施しませんでした。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	2	1	・移行支援会議を実施し、保護者、学校、相談支援専門員、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者に支援内容等の情報を伝え、繋がる支援を実施しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	5	・同法人、発達障害者支援センターと連携を行っています。 ・コロナ禍だった事もあり、今年度は研修等を実施できませんでした。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	12	・今後、保護者の方のご意見を確認しながら検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15			・利用時には家での様子を提供記録に記入してもらい、情報交換を用紙で行っています。また、送り迎えがある利用児は、来園時にその日の情報交換を行っています。その他、保護者面談、個別支援会議、電話相談等で発達状況等を伝えています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	6	1	・家族支援プログラム(勉強会・交流会等)を開催する際には、情報を発信していきます。また、相談については随時受け付けています。 ・今年度は研修は行えませんでした。保護者面談、個別支援会議時等に子育てのコツやアドバイス等をさせて頂きました。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	3		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	3		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	1		・3か月毎に保護者面談月を設け、保護者の相談に対応し、子育てのコツやアドバイス等を行っています。また、サービス提供記録や電話等でも随時 相談を受け付けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	8	・次年度は少人数等で実施する予定です。

保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	2		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	1		・わくわく予定表、ほけん便り等の発行、Facebookの投稿を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	15			・年度当初に個人情報の同意の確認を行っていますが、Facebook、ホームページ等の掲載については、その都度、保護者の同意を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	6	・法人としての地域住民を招待する行事はありますが、事業所としては予定はありません。(今年度は新型コロナウイルス感染拡大から、法人主催の行事の実施もありませんでした)
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	6		・マニュアル関係は事業所玄関に提示してありますが、保護者への周知には至っていません。今後提示の方法を考えていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	1		・毎月火災訓練を実施しています。また、防犯訓練、水害訓練、地震訓練も実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	1		・利用前のアセスメント時や児童発達支援計画の見直し時に必ず再アセスメントを実施し、状況把握しています。 ・保健調査票で予防接種やてんかん等の把握をし、必要児には医師からの指示書をお願いしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15			・事業所独自のアレルギー調査表を用い、医師の指示書のもと、管理栄養士と連携しながら食事提供しています。 ・指示書を主治医に記載してもらい、指示書をもとに職員全員で周知し、食事提供をしています。アレルギー反応が出た時は、マニュアルに沿って対応しています(服薬等)。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	1	1	・ヒヤリハットは報告書を作成し、朝礼時に口頭で報告を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	1		・事業所内外の研修に参加し、適切な対応ができるようにしています。 ・虐待防止委員会を定期的に行い、年2回(外部講師1回)虐待防止研修を実施している。また、セルフチェック年4回、メンタルヘルスチェックもおこなっています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	14	1		・身体拘束の対象となる利用児はいないので、身体拘束は行っていません。